

令和 5 年度 地域活性化活動助成事業報告書

山口市立八坂小学校

活動名 「歴史を知ろう、引き継ごう重源太鼓」

1 活動の概要

平成 15 年の統合により、本校が引谷小から受け継いだ「重源太鼓」の継承活動は今年で 21 年目となる。重源太鼓の継承への取組は、本校教育目標「ふるさとに学び 夢と生きぬく力を育む」の達成に向けた核となる教育活動として、教育課程に深く根付いている。家庭や地域も児童の太鼓演奏を楽しみにしており、家庭と地域と一体となって「ふるさと徳地」に愛着と誇りをもつ児童の育成に取り組んでいる。

活動の実際の様子としては、高学年を中心として一人一張ずつ太鼓を受け持ち、年間を通じて練習に取り組みながら、定期的に地域の「イベントや学校行事等で演奏を披露している。毎年 2 月に校内で引継ぎを行い、新年度に向け、新しい体制を作っている。年間の練習のうち、5 回程度は太鼓の演奏の仕方や振り付けやフォーメーションの組み方等、講師の指導を受けながら練習に励んでいる。



講師の指導のもと、練習に励む児童の様子

2 今年度の主な取組と成果

今年度本校の児童数は 18 名。児童数減少により、初の試みとして 1 年生を新体制に加え、全校で演奏にチャレンジすることとした。今年の春に 6 年生が 9 名卒業し、これまで主力であった高学年に代わり、太鼓の演奏メンバーは下学年の割合が高い構成となった。このことにより、これまでのような演奏を披露するには、相当の練習量と努力を必要とすることとなった。

一方、地域や学校のイベントで太鼓の演奏を披露し、重源太鼓の継承活動に取り組む子供たちに対し、地域住民からの期待は大きく、演奏を待ち望む声も学校に多く寄せられていた。

そこで、今年度は、11 月の地域の祭りに 1 年生から 6 年生までの全校で出演することを目標に活動に取り組むこととした。日頃のクラブ活動に加え、昼休みに自主練習に取り組んだり、夏休みに卒業生をゲストティーチャーとして招いて

演奏の指導をしてもらったりしながら、全校で一生懸命練習に取り組んだ。



「昼休みに自主練習に取り組んだり、卒業生に演奏の仕方を教えてもらったりしている子供たちの様子」

そして、見事11月の地域の祭りで、1年生を加えた新体制で「重源太鼓」を初披露することができた。小さな手で太鼓のバチをしっかりと握り、真剣な表情で太鼓を演奏する姿、そして、その低学年を支える上学年の子供たちの姿は、演奏を楽しみにしていた地域住民はもとより、祭りに訪れた県内外の多くの人に感動を与えた。力強い太鼓の音色と共に徳地の魅力を届けることができ、太鼓演奏は大変好評であった。日頃の取組が地域貢献につながり、児童にとっても、伝統を受け継ぐ励みとなった。

また、今年度の取組は、卒業生ともつながりを作ることとなり、今後の継承活動の方法に新しい方向性を生み出すこととなった。徳地校区は複数の小学校が集まり徳地中学校へと進学するため、それぞれの地域の伝統文化を中学校で継承することは難しい一面がある。夏期休業中などを生かして、卒業生が「重源太鼓 OB」として、気軽に練習に参加できるシステムを今後、中学校や地域と連携して構築していきたいと考える。

その年々の構成メンバーにより演奏形態は少しずつ変化していくが、子どもたちの中で「重源太鼓」は確かに受け継がれている。地域は毎年、太鼓を力強く響かせ元気に演奏する子供たちの姿を見ることを楽しみにしている。子供たち自身も継承活動に誇りや自信をもち、「地域を元気にするために自分たちにできることをしたい」と意欲的に地域貢献に取り組んでいる。子どもたちが生き生きと活動に取り組む姿そのものが地域を元気にする源である。

地域の期待と温かい応援を受けながら、今後も八坂っ子たちの太鼓は力強く徳地の町に響くことだろう。